

農業で未来を

私は、千歳町で水稻、肉用牛繁殖の複合経営を両親・妻の4人で行っています。私が就農した当時は、若い後継者が市内にはいなかつたように思えました。しかし最近は、牛の市場に行くたび、若い人たちを多く見かけるようになりました。後継者不足が叫ばれている中、若者にとつて魅力ある農業の確立、消費農作物の生産など、一步進んだ農業経営に変わらなければ・・・



千歳町船田
むとうとしふみ文
武藤俊文

どうか若い人達の声を聴いてほしい!!
子ども達の未来を考えるならば、人が生きていぐ為に必要な、食の安全や大切さを、身を持つて学習したり体験できる場を増やしてみては、どうだろうか?

最近そんな事を考える年齢に、自分が近づいて来たのかなあとと思うこの頃です。

どうか?



犬飼町田原
ごとみふとみこ子
後藤富子

三重高校卒業式・閉校式 に出席して

42年ぶりに、わが母校三重高校の門をくぐる。106名の卒業式と106年の歴史に幕を降ろす閉校式に出席するため。

この日をわが胸に刻み、その時を共有したいとの思いで、卒業生の保護者、同窓生らで体育館はぎっしりと、埋まっています。

OBの演奏するなか、気恥ずかしそうに、この日を迎えた喜びを顔一杯にして入場してくる卒業生、拍手で迎える私たちも胸が熱くなる。

一人ひとり卒業証書をいたぐ姿に「頑張れよ!」とホールを送る。

続いて、閉校式となり、校旗返納の時は、皆のまなざしが校旗に集中して感慨深いものがあつた。校歌をこんなに思いを込めて歌つたのは、私だけではないと思います。その後、校舎、グラウンドを反と見て回り、この学び舎とも本当に別れかと思うと、閉校式の実感がわいてくる。

社会の変化、生徒数の減少でいろんな議論の末、三重総合高校が開校されました。

この高校も今年全学年揃い、本当のスタートを切れたと思います。これから新たな歴史を一つ一つ築いて行ってほしいと思つます。